

事業報告書（令和 7 年度）

事業名 “ESD for 2030” 岡山ユネスコプログラム 2025

団体名 岡山ユネスコ協会 担当者名 井上 紘貴

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、講師、参加対象者、人数、内容等）

1) SDGs パスポート体験発表会

2025 年 8 月 7 日午後、「おかやま SDGs フェア」内にて開催。岡山市立豊小学校、岡山市立上南中学校、岡山市立建部中学校、岡山市立岡山後楽館高校の 4 校から代表児童・生徒に登壇していただき、地域内におけるボランティア活動、学校における探求学習活動の成果について報告していただいた。



2) 第 26 回平和の鐘を鳴らそう！in 長泉寺

2025 年 8 月 15 日、岡山市北区南方の長泉寺にて開催。一般参加者、ボランティア中高生、メディア関係含めて約 60 名が参加。

第一部ではわたしの平和宣言を参加者全員で唱和したのち、正午に参加者全員で、それぞれ平和を祈りながら鐘を鳴らした。



第二部では“平和の話”と題して、ウクライナからの留学生にウクライナの歴史、2022

年から続いているロシアによるウクライナ侵攻の現状について話題提供していただき、その後は参加者同士で感想を共有する時間とした。

3) 絵で伝えよう！わたしの町のたからもの絵画展

2026 年 1 月 10～18 日（13 日を除く）の日程で岡山県生涯学習センターにて開催。岡山市内の小中学校に在籍する児童・生徒から応募があった 182 点から審査を経て選ばれた入賞作品 79 点を展示。最終日 18 日は入賞者全員を対象に表彰式を実施し、表彰式後には岡山市文化振興課による特別講演「文学創造都市おかやまの取り組み」も実施した。



2. ESD の視点

① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

1) SDGs パスポート事業

今年度は 22 校の小学校、中学校、高校で約 6,000 名の児童・生徒が取り組み、そのうち 22 名の中高生が 30 ボランを達成したほか、41 名の中高生が 15 ボランを達成した。特に 30 ボランを達成した生徒からは、公民館や地域でのボランティア活動を通して地域を知ったり好きになることができた、周りの人との協力の大切さや、防災のために普段から交流しておくことの大切さを知ることができた、地域イベントのボランティア活動を通して表に立つ仕事だけでなく、裏で支える仕事にも興味をもてるようになった、と感想を寄せていただいた。

2) 平和の鐘を鳴らそう！in 長泉寺

今年度は 16 名の中高生に当日ボランティアとして運営に携わっていただいた。高校生からはニュースや SNS では伝わってこない本物の恐怖や悲しみ、平和を願う想いが伝わってきた、戦争を経験した世代の想いや声、戦争そのものの悲惨さを次の世代に伝えなければならない、などと感想を寄せていただき、自分事として戦争の悲惨さや日常の平和が如何に尊いかを学んだ様子が見られた。

3) 絵で伝えよう！わたしの町のたからもの絵画展

今年度は小学校 14 校、中学校 7 校、絵画教室 1 校から 182 点の応募があり、そのうち入

賞作品を79点選定した。出品票からはどういう意図で作品を描いたかがうかがえたほか、いずれの入賞作品も見つけた“たからもの”を大切にしたい思い・気持ちをよりよく伝えるために、形や組み合わせ、構図（建物や人や木々をどこにどんな大きさを描くか等）、色、塗り方などの工夫が感じられた。

② どのように学び合いを取り入れたか

1) SDGs パスポート体験発表会では、4校の発表後に発表者全員で質疑応答、それぞれの発表で良かった点、印象に残った点について児童・生徒で共有した。

2) 平和の鐘を鳴らそう！in 長泉寺

ウクライナからの留学生からの講話を聴いた後に1グループ5~6人ほどで感想や意見をシェアする場を設けた。

3) 絵で伝えよう！わたしの町のたからもの絵画展

表彰式の講評の中で受賞した児童・生徒に作品を描く上で工夫した点、苦労した点について発表・共有した。

③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

SDGs パスポート体験発表会では地域団体と連携しながら課題解決に向けて行動したり、地域課題の解決に根差した研究成果を発表しており、総合的な探求学習に結びついたものと考えられる。

絵で伝えよう！わたしの町のたからもの絵画展では、文化遺産や伝統芸能など自分たちの住む地域の良さを見つける観点から社会（主に歴史）、そしてそれらを絵画で表現する観点から図画工作及び美術につながると考えられる。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

1) 平和の鐘を鳴らそう！in 長泉寺

インターキッズ（NPO法人こくさいこどもフォーラム岡山）主催の国際塾に参加している塾生から中高生16名がボランティアとして参加した。日常生活では平和について話し合ったり、考える場自体が少なく、またメディアに触れる時間も少ないことから、ウクライナの現状、平和の尊さについて考えるきっかけになったと考えられる。

2) SDGs パスポート事業

SDGs パスポート事業では、参加校の児童・生徒たちが学校外に出て、地域団体と協働して地域の課題解決に向けて行動するためのきっかけづくりに結びついたと考えられる。また、様々なつながりの基で地域社会が成り立っていることも気づくきっかけになったと考えられる。

3) 絵で伝えよう！わたしの町のたからもの絵画展

応募総数自体は昨年度の 234 点から今年度は 182 点に減ったが、厳正なる審査の結果、入賞作品は昨年度の 62 点に対して今年度は 79 点に増加した。

例年だと中学生からの応募は少ないが、小学生の頃から出品していた生徒が中学生になっても自発的に応募するケースが複数見られ、全体的に中学生の参加数も増えた。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

今年度は多文化共生カフェと題して、留学生との交流だけでなく、留学生にも岡山の良さにも触れるバスツアーも企画していきたい。

また 2026 年は日本がユネスコに加盟して 75 年となり、弊社としても他の協会の活動からヒントを得ながら、75 周年に相応しい活動を新規で盛り込んでいきたい。